# 公共　授業プリント No.28　（　月　日(　)）

**●３学期の大テーマ：**

**選挙権を持つ有権者として政治に参加するために、必要な力を身につけていこう。**

**●今回のテーマ**

・（1、薬害　　）とは何だろうか？　どうすれば防ぐことができるのだろうか？

## 1　薬害ってなんだろう？

●副作用と薬害の違いは？

・医薬品には、（2、効果　　（主作用　　））と（3、副作用　　）がある。

▽（例）市販の風邪薬の場合

| |
|---|
| ・効果…（4、病気の症状をおさえる　　） |
| ・副作用…（5、ねむくなる　　）など。 |

⇒医薬品は、効果と副作用のリスクを理解したうえで、「使用上の注意」を守って正しく使う必要がある。副作用は、医薬品を正しく使っても避けられない場合がある。

しかし、単なる（6、副作用と薬害は異なる　　）問題である。

●薬害の例

チャレンジ！　その1　「薬害を学ぼう」のパンフレット3～4ページを見て、（ア）～（カ）に当てはまる言葉を書いていこう。

| |
|---|
| キノホルム製剤による（ア、スモン　　）の発生<br>■「キノホルム」は、1900 年頃にスイスで傷薬として発売された薬で、日本では整腸薬として使われるようになりました。1960 年代、キノホルムの入った整腸薬を飲んだ人に、全身のしびれ、痛み、（イ、視力障害　　）などが起こりました。当初は伝染病が疑われ、（ウ、原因究明が遅れた　　）ため、1 万人を超える人が被害にあったといわれています。 |
| サリドマイドによる（エ、胎児　　）の障害<br>■「サリドマイド」は１９６０年前後に睡眠薬や胃腸薬として発売された薬です。はじめは西ドイツで販売され、日本でも「（オ、妊婦や小児　　）が安心して飲める安全無害な薬」をキャッチフレーズに販売されました。<br>■ところが、この薬を妊娠初期に使用した母親から、手や足、耳（（カ、聴力　　））、内臓などに障害のある子どもが次々と誕生したのです。 |

## 2　薬害とはどのようなものなのか、被害者の声を聴いてみよう

①スモン被害者　高町晃司さん

②サリドマイド被害者　増山ゆかりさん

③HIV 被害者　後藤智己さん

●映像を見て、次のことについて自由に書いてみよう。

被害者は、薬害でどんなことに苦しんだだろう？：

（例）・視覚障害のせいで、就職先が見つからなかった。

・学校でいじめにあったり、家族と離れ離れになったりした。

・HIV への差別・偏見に苦しんだ。

被害者は、薬害についてどのように考えているだろう？　何をしてほしいだろう？：

（例）・薬害被害者を受け止めてくれる社会になってほしい。

・薬の危険性を理解して、慎重に使用してほしい。

・正しい情報を公開して、正確な知識を得ることで、差別・偏見のない社会をつくっていってほしい。

被害者の声をきいて、感じたことや考えたことは？

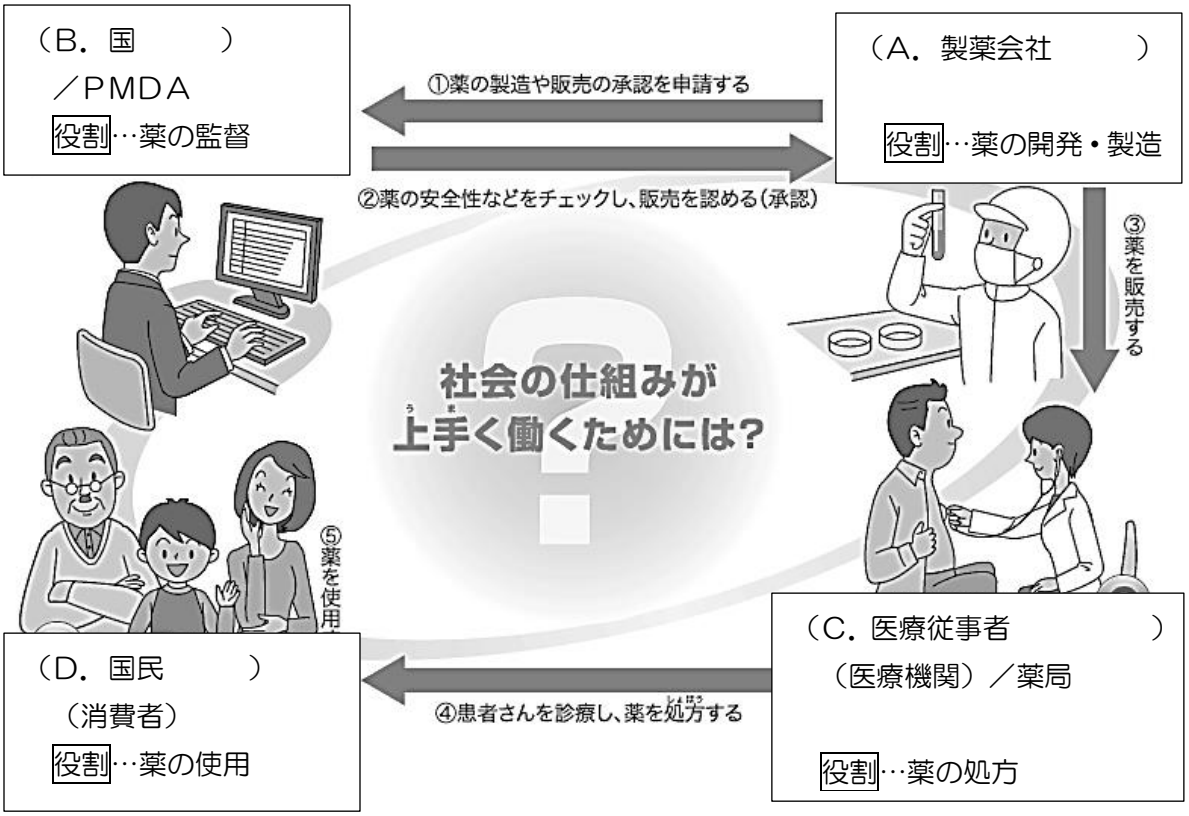
1 年＿＿組＿＿番　名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　ﾁｪｯｸ＿＿＿＿

**ウラへ続く！➡**

（公共　プリントNo.28 ウラ）

## 3　どうすれば薬害が起こらない社会になるのだろう？

・薬害の発生には、社会の中の次のような立場の人々が関係しています。
　それぞれの立場の役割を見つめなおしてみよう。




チャレンジ！　その2　パンフレット６ページ右下「もっと詳しい役割を見てみよう！」を参考に、①だれが（どの立場が）、②何をすれば薬害を防ぐことができるのか、
　A・B・C・Dの４つの立場の「役割」に注目して考えてみよう。

（例）（　　）が、（　　）。

| |
|---|
| 自分の考え： |
| （例）D（国民）が、自分の使う薬に関心を持つ。 |
| ほかの人の考え　名前：（　　） |
| （例）A（製薬会社）が、薬の情報を隠さず公開する。 |
| |

1年＿＿組＿＿番　名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

4　振り返り　薬害について新たに知ったこと、考えたことや感じたことを自由に書いてみよう。